

5月10日

談話会通信

No.22

通信内容

キシウエトクテの観察	2
ますや山のクモ	2
自己紹介	6・7
蔵書目録No.103	9
春の観察会	1

東京蜘蛛談話会

冬から春への通信づくりをと考えているうちに、東京は

桜がちらり、若葉が茂りはじめました。若葉の便りとともに、

新しく入会された方を紹介いたします。6月の総会お知らせは

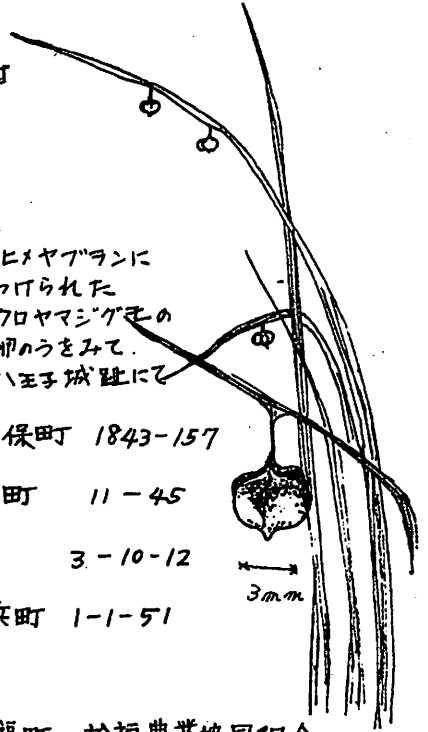
おついでに届けていただきます。なお、KISHIDAIA No.41 42の正誤表がぶるくに

新入会員の紹介・住所変更

▶ 入会された方を紹介いたします。

- | | | | |
|---------|------|------------|----------|
| 貝原憲治さん | 〒515 | 三重県松阪市久保町 | 1843-157 |
| 片岡佐太郎さん | 〒020 | 岩手県盛岡市西下台町 | 11-45 |
| 丸山美紀さん | 〒277 | 千葉県柏市加賀 | 3-10-12 |
| 大野経明さん | 〒250 | 神奈川県小田原市浜町 | 1-1-51 |

* ヒメヤブランに
つづられた
クロヤマシゲモの
卵のうをみて。
八王子城跡にて



▶ 住所変更のお知らせ

西嶋啓一さん 〒759-23 山口県美祿市於福町 於福農業協同組合

春の観察・採集会 5月21日(日)

一つの場所をオールシーズンにわたって、観察・採集会を行うという、談話会初の試みもいよいよ最後の一回だけになりました。場所は、もちろん八王子城跡です。観察・採集会で一人々が楽しくわかりあえるとともに、談話会としての一つの大きな使命として、みんなで、八王子城跡のフアナをまよめましょう!!

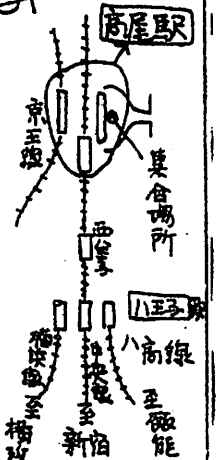
日時： 5月21日(日) 午前10時集合

集合場所： 中央線高尾駅北口

観察場所： 八王子城跡(造形大学方面)

持参物の： 昼食(すし等)採集用具、etc

交通： 右図 ☆雨天決行



〔連絡先〕 新海栄一

TEL 0423(21)0289

まぐれ ポスト



▶ 観察採集会をしませんか。

談話会の教名が先日集まって話をしていると、採集会の話が出て来ました。杣形山の採集の次は、どこにしようかという話題。ちつどそこにいた古類(?)の人が、滝山城跡へ行たことがあるという話がもちかけました。すると誰も行ったことがないとのこと。それならば「行こうではないか」とすぐに相談がまわりました。みなさん行ってみませんか。

(土日の会と呼ばれる人たち)

場所: 滝山(たきやま)城跡
日: 6月4日(日)
集合場所: ハ王子駅北口
集合時刻: 10時 雨天でも集まる
今回の連絡先: 田中理恵 TEL 0425
もちもの: お弁当 etc (57)0355

▶ 貞元巳良さんより

トタテグモについて
いただきました。

ほくは、クモの中で土中の住人が一番好きなのですが、

先日 *Latouchia typica* の繁殖地を発見しましたので報告します。

発見場所は、横浜の少し先にある「根岸」というところ。古くくずれかけた西洋劇りの館の石垣は *Latouchia typica* の住居でかなり多くの個体が見られます。

環境は比較的明るく土壌は、外に、かき回して、コトなど生え、また適当な湿度を保たれているようでした。

なお、その他著しいことはもう一度行って観察して見たいと思いますのでまた新しい事がわかれば、オス弾として報告したいと思います。

▶ 杣形山における採集会について、鈴木勝浩さんより

去る3月31日に神奈川県向ヶ丘遊園地付近杣形山を中心とした採集会を行いました。参加者は土日の会と称している者たちと特別招待者(?)の総勢5名でありました。天候は曇りがちで、ちよと腐寒く、とえ感じられましたが、50種あまりのクモを採ることかできました。

午前中は各自でハンドソーティングを中心に、カネコトウテグモ、コムラウラツマゲモなどを、午後は専ら特別参加者の(K氏)提供のふるい落とし法を行い、マツラグモの一種、オセメグモ、アリマネグモなど数10種のクモを、確認・採集することができました。

一般的な種が多かったようですが、私にとり、*Phrurolithus komurai* はじめてのクモとも数種出会うことができました。ひとりで、コクコク採集するのはよいことですが、時にはこのように都合のつく者がどうしが集まって、いっしょに採集するのも、私に非常に大切なことと思います。

談話会の皆さまの中で、私御都合のつ方はどうぞ気楽に御参加下さい。(このような本来の談話会、行事以外の活動について、これから談話会通信に掲載されるとのことですから、注意して御覧になって下さい。)



U/VK テレビ

テレビを見ていて (狂酔)

3月は2週連続で驚異の世界(日本テレビ)「ミクロ」あは「毒がその腐蝕」という題でワモを放映した。1回目は山の帰りにずうずうしくも高野先生のお宅にころがり込んで見せていただき2回目は勤務の休憩が丁度良く放映時間に当り全て見る事ができた。この番組は以前の「いきものパンザイ」のように専門家の意見を隔かなくらしくオウヤクワモの綱を直訳でトライアングルネットとか種名も学名(キミガワモを *Pisaura* エリシガモを *Pholcus* 等)で書いてあり、身近なワモの仲間もあつてきたが、この点では親しみなかつた。しかしオウヤクワモの造網やオウリスズミガモの造網、キミガワモのガスがメスに持ってゆくアレセントを作って支持(尾)に何、尾1 2本がモヤクワゴケワモの支持前のダンス等、またカゴツクワモのしが網を支持を消させた後早く捕食してしまつてころりコガネガモの一種 (*Argiope argentata*) のしが精液を小さくネットに出して *palp* に取り入れて早く近づく支持するころりヤミガモの生態、メダマガモが飛行中の虫をネットですくいとてしまう(野生の王国では徘徊性のものにネットをかかせる)という本当に驚いた場面まで興味深く見る事ができた。ドイツで製作した作品で、日本題のように毒々しいものではなくすばらしい画面でした。2回目は休憩時間中多くの職場の人と一語に見ましたが、あまりいろいろな種類とおもしろい生態に皆興味を持って見たい。しかしワモに対する受けとり方が変わったようでした。

4月は2日に知られざる世界(日本テレビ)が「空からワモの巣が降る! 世にも不思議な現象」が放映された。さては *Gosammer* のことかと思われるが、初めて見たのは、空の火の玉(隕気球)現象やら、隕石が昔は宇宙から来たとは認められていたことが、科学という土壌からはみ出したものも集めたときであり、死はほんの少々糸のかたまりが降り、これは空から降るもので、目撃のものではないようだ」と

いう説明で研究者の顔面にあらわれ、この「空」にはワモの糸が降ると言うのである。この間1分くらい、別に糸が空から降る場面があるわけではなし、ワモも全く出てこなかった。テレビ番組を見て、さきさき *Gosammer* の端角が飛行機蜘蛛でもと期待していたのにがっかりしました。このほかの番組は前記の如く正しくUFOがあたりで飛んでました。この番組は死をガシヒしてマシキ化したUFOについで組んだもう一印象を受けた。

日本テレビ

1978年3月16日(水)

「ミクロ」あは「毒がその腐蝕」という題でワモを放映した。1回目は山の帰りにずうずうしくも高野先生のお宅にころがり込んで見せていただき2回目は勤務の休憩が丁度良く放映時間に当り全て見る事ができた。

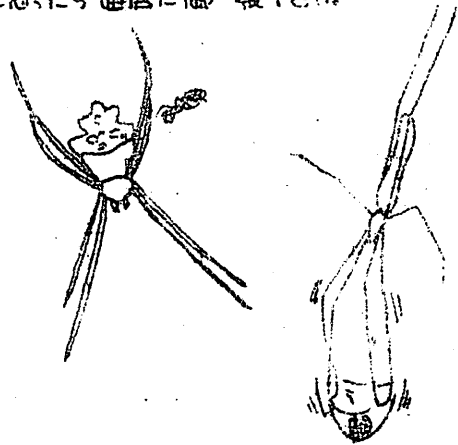
1978年3月23日(水)

「ミクロ」あは「毒がその腐蝕」という題でワモを放映した。1回目は山の帰りにずうずうしくも高野先生のお宅にころがり込んで見せていただき2回目は勤務の休憩が丁度良く放映時間に当り全て見る事ができた。

1978年4月2日(水)

「空からワモの巣が降る! 世にも不思議な現象」が放映された。さては *Gosammer* のことかと思われるが、初めて見たのは、空の火の玉(隕気球)現象やら、隕石が昔は宇宙から来たとは認められていたことが、科学という土壌からはみ出したものも集めたときであり、死はほんの少々糸のかたまりが降り、これは空から降るもので、目撃のものではないようだ」と

昔はNHKの鳥居のアリウムや新日本放送でチリチリとかその姿を見せながらワモが最近、あちこちに輪を吐き、昨年はワモの雲にも出撃してあります。テレビで「ワモ」と思つたり通信に御一報下さい。





百年戦争

(175)

井上ひさし
朝倉 操
観性者 1

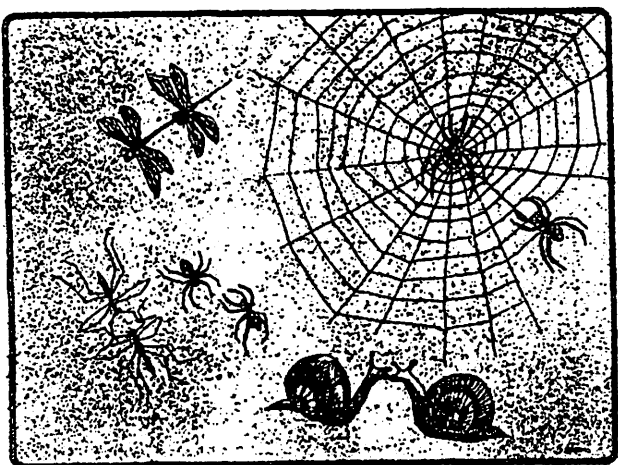
1977. 9. 26 日 (日)

「こう申してはなんですが、進化の可能性のない生物ほどつまらん性生活を送っているようですよ。嘘とお
思いならミリスやカタツムリをごらん下さい」
長岡先生の舌の回転はますますはやくなり、さらさら

と滑るを期した。

ミリスやカタツムリにはオスとメスとの区別さえあ
りません。虫中や輪虫などはメスだけで殖えます。
またニュージーランドにいるオビフェクスという蚊の
メスはメスのさなぎのいそうな水たまりの上を走りま
わり、メスのさなぎを見つけたら、いまなりさなぎ
を相手に交尾をすませ、しめます。ホコリダニも
このようにメスとよく似ており、ホコリダニの
オスはメスの幼虫をみつけるとさっそく捕えて自分
の背中にのせて歩くのです。そして幼虫がメスになる
やいなや交尾を行う。まったく恋の「コロ」の字もあり
やしません。うーうーと叫ぶの、即席の性生活しか持て
ないから、虫中も輪虫も数もタニも進化、進歩しな
いのです。さへ入行くとクモなどは若干の可能性が
うかがわれるように、オオヒメグモのオスはメスの張
りめぐらせた網に近づくと、網の外から網の糸をぼん
ぼんとはじいて求婚いたします。ものもいわずスズカズ

▲ 熊田憲一さんより
よせられたものです。



カ入って行きますよ。メスグモに獲物とまちがえら
れたと入られてしまう。ですから意のあるところを細
じるまでオスは網の糸をはじきつつけます。それはあ
らう三日でも四日でも粘りつつける。ハエトリグモにな
りますとさらに高等な求愛方法が用いられます。ハエ
トリグモのオスはこれと厚くメスの胸に出ると体を
どっぴりしと持ち上げて脚腕のりのように手を振り
足でステップを踏む。さらに高等なのはハシリグモの
場合、ハシリグモのオスはメスのもとを訪れるときに
はかならず小さな昆虫を捕え、それを贈物にしてたず
ねて行くのです。メスは贈物にとびつき、それをたべは
じめる。オスはそのすきに目的を果すのであります」
「やめる、エロはなしは」
昆虫ネコのなかからたれかが野次った。
「いい加減にしないか、まったく」
「エロはなしですと。冗談ではない。わたしは学術的
なはなしをしているのですぞ。すなわち、豊かに交尾
するものは豊かな進化の可能性を持っている、という
ことをご説明申し上げているのであります。……エロ
ン、ではあらゆる生物のうちでもっとも豊かに交尾
文化を所有しているものはなんでありましょうか。
か。いうまでもなくそれはヒトであります。各層のあ
ぶな絵巻、キャバレー、トルコ、ストリップショー
などの性的感情高揚機関、そしてラヴホテル、連れ
込み宿、皇居前広場などの性的行為実施施設の充実な
ど、ヒトの交尾文化にたいする気の配りよはたいへ
んなものであります。わたしどもネコ族もすこしは異
習つべきでありまして、」

自己紹介

埼玉県 嶋田 順一 さん
よりいただきました。

この3月に学生生活を終えあつたに
社会人としての一歩をふみ出し
ました。会社はフス果樹脂の塗装屋
で工場は川越市にあります。今年
一年間は相模原市にある職業訓
練大学校にて塗装科の研究生とし
て塗膜の物性について研究して
ます。

しかし会社の仕事のこともあるので
少なくとも週一回は工場へ戻ります。
新しい生活環境のなご落ちつくま
じはやく時間がかかりそうです。

← 気分の落ち込みがつの自に
かしく困りますので
この近頃の「標」など
なんでも書いて送って下さい

東京農業大学の3年です。

現在は高種学研究室で
蜘蛛の染色体を研究して
いますがなかなかよい分型像
が見えずにいろいろな方法で
行っていますが、やはり時間がか
かりそうです。休暇時には蘭を
見たりサリと遊んだりしてすご
してあります。

▲ 川崎市へ松浦祐司
さんからです。

横浜市の吉川 伊智郎 さんから

いただきました。

今年4月から 大学生となりました
吉川 伊智郎 と申します 18才の男子です
大学の専攻が教育なので 将来はその
方面の道に進みながら 蜘蛛を続けて
行きたいと思っています 談話会に入って
2年たらずですが このぬぐまれた環境の中
で 蜘蛛がで"きるの"とでも合わせに思
います 一生懸命がんばって行きたいと思
いますので どうぞ よろしくお願ひします。

東京都の
松本 誠治 さんから
いただきました
(自) 紹介しては
ないのですか



← このイラストを下のところに紹介し
ます。線画で大きくて、どうして大々
とあつた。このイラストは 4個の 4, 2000-
5000と書いてある。

▶ 新海栄一さん 自己紹介ではなく他己紹介なのですが、ここに紹介いたします。

この人を知らない人は、ほとんどありません。談話会ばかりが学会として全世界のクモ学者でも御有名。クモを始めて16~7年。もう古い部類に入ります。ようするに年寄りなのです。でもまた20才代にかろうじてふっつ下っています。また独身なので、気付けはすく? 若くその頑張りはずばらしいものかあります。分類、分布、生態などクモ全般、オルマにて知らぬ事とな、もし知らない事があればそれはクモの世界で未知の部分であると言えます。談話会の活動も倉設以来面々と活動を続け、現在は会の命とも言える会計を受け持っています。少ない会費の中から、厚いKISHIDAIAが発行出来るのも、会費の協力の協カと会計のやりくりのうまさには、ほかなりません。そして、その経験を生かして、会の活動にもいろいろ注意をしてくれます。しかし、かわいそうなことに、古参としての意見も新参の多い運営委員会では、通らぬ事があり、活動の面では、一歩も二歩も譲っているのが現状です。

クモの実力はここで紹介するのもおこがましいくらいに、皆様がよく知っています。新海さんの家に行くと、日本国内を問わず、世界のクモまでが集りつあります。最近、その実力がものをいい、皇室関係のクモを今に引きつけ、その成果がKISHIDAIAにも発表されています。実力の中でも光っているのが採集です。見つけ、ヒーター、ビン、など、いろいろな面での実力No.1を以前に面白半分決めたことがありますが(これは秘密) No.1には、どにも顔を出しませんか、総合No.1に輝きました。一つの事に、い出るのは簡単ですが、全てにというのは、なかなかのもので、す。

近年、人に言わせると、水旺会なる異常な集団を結成し、日本国内を飛び回り、その腕にみかきをかけていると、憶られてはなりません。(そのおかげで、他の水旺会員休む暇なし、かわいそうに)

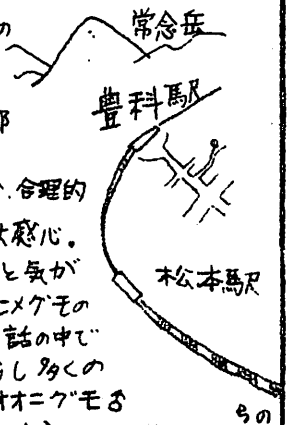
あんまり持ち上げすぎたので、腕が疲れてきました。もっとよく知りたい人は、国分寺のシカイ写真館に電話をしてから行って下さい。

(水旺会の一員より)

▼ 安曇野の先生、2月といってもまたまた冬景色の

長野県豊科駅に、編集長がやってきました。もちろん目的は、長野のクモ先生、干国先生にお会いするためです。先生は、風邪がみで、したが、編集長をむかえてくれた、さいました。

先生の室はやはりクモの先生の室であることが、すぐわかるくらい、合理的にまとめられてありました。その中でクモのスライドをみせていただき、大感心。写真とともにクモの形態の話をしてくださいました。別々に見ると、気がつきませんが、ならべてみると、たかに違いのわかるヤチクモ、ヤヒクモの一種、あかしみかサミクモなど、知らないことは、かなりでした。クモの話の中で、干国先生が、もろえた、という標本が、ありますので、紹介いたします。もし多くの標本をお持ちの方、いら、したら先生と連絡をとられては、アオニクモ、ナンゴツフクモ、ハラビロミドリ、の、 (編集局より)



中着田のクモ

中着田 (埼玉県)

2月16日 (土) のち晴れ

参加者 (敬称略)

新井 熊田 佐藤 (中) 近藤 貞元

吉川 並木 鈴木

中着田 (埼玉県) はなごころのクモの情報を得た人たちが、ここに一度行ってみようという思いが、あちあちへ広がって、中着田に集った。採集したクモについて、鈴木勝造さんの記録が参考になるので報告します。

採集したクモ (順不同)

ササグモ、サガオニブモ、オスクロハシ

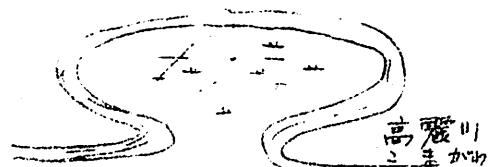
- スジアカムネグモ、スジホケハシクモ
- ヒラヒロセンショウグモ、ヒラヒメグモ、
- オナカクモ、キバラコモリクモ、ヤホシ
- ヒメグモ、ウツキコモリクモ、ハリゲ
- モリクモ、アオオニクモ、アゴブトクモ
- オガネドヨウグモ、ゴミクモ、ハナクモ、
- ウサグモ、ヤマトコノハグモ、コノハマサ
- ラグモ、ヤマシロオニクモ、ヘリジロサラ
- ドヨウオニクモ、アシナガクモ、ヨツデゴ
- モリグモ、キビアカサラグモ、ハハロヒメグモ
- ヒメグモ、ヨツボシヒメアシナガクモ
- オオヒメグモ、アシアトヒメグモ、ヤミロ
- アニグモ、キタセンショウグモ、ハツリグモ
- ナリクモ、シクモ、ヒラタクモ、カチド
- クモ、ギンメツキコシクモ、テラアカ
- ネグモ、マネキグモ、マミシロハエトリ
- グモ、アシナガサラグモ、オオ
- アサグモ、キクツキコモリグモ、オコヒ
- オオカクモ、ワカハグモ、スジハ
- グモ、イオウシロハシクモ、

【採集種】

オコヒグモ Pirata sp

シロカネグモの一種 以上

中着田の環境



高麗川が干涸びたために蛇行したためそこだけの中着田(中着田)のクモになってしまいました。ほとんどが水田(湿地)になっています。湿地は春になるとセリケンゲが繁ります。採集したクモにも特徴があります。

中着田については通信17号p9にも報告がのっていますのでごらんください。

クモのジャンパー

連日の国鉄線ストライクのため、高麗線が全く動かなくなりました。そこで国道16号を通って、拜島(はいじま)まで自転車通勤をしゃべりこんだおりに発見したものです。

国道16号をいって、拜島には横田米軍基地があり、ゲートごとに石があります。通りがかりにウインドをのぞいてみると、背中に大きなクモを(しゅつ)したジャンパーがありました。このジャンパーはTV山口百恵主演 赤い斜に登場しているキムロラが着ているものとそっくりです。ほい方はまたあいてあるようですので、いつかお会いしたいなあ、かかろう。

(田中理恵)さんより



談話室



談話室では活動内容の報告や運営委員会(通称編集委員会)に入ってくる情報紹介を
行なっています。

▶ 談話会蔵書目録 (コピーにお願いします:事務局まで)

- No. 93 THE ZOOLOGICAL SOCIETY OF LONDON,
CENTRE INTERNATIONAL DE DOCUMENTATION ARACHNOLOGIQUE
and THE BRITISH ARACHNOLOGICAL SOCIETY : ABSTRACTS :
(第7回国際ワニ学会 講演要旨) (1977)
- No. 94 松本誠治 (1977) W. T.-ニッソウノワニ採集地を訪れて.
採集と飼育, Vol. 39 No. 11 pp. 558-561
- No. 95 清澄 6号 及船の自然研究会. 1977
栗原輝代子 カンスタより採集された真正ワニ類の季節的消長 pp. 40-47
- No. 96 九州ワニの会会報 (第1号) 1978.
- No. 97 和合治久 (1977) ウズキコモリワニの生態 - 産卵行動と卵の保護
行動 - 動物と自然, 7 (3) pp. 16-19
- No. 98 Heteropoda (1977) 新潟県蜘蛛研究同好会誌. [創刊号]
水沢 正明 新潟県蜘蛛研究同好会誌発刊にあたって
長谷川 昭夫 新潟県内の蜘蛛類について
内田 善昭 佐渡郡新井村の真正蜘蛛類
山本 寿男 谷川自然園におけるワニ
水沢 正明 新潟県の真正ワニ類について - 第3報 -
巻高放牧部ワニ研究班 蜘蛛採集法を考ふる
水沢 正明 新潟県の真正ワニ類に関する文献
- No. 99 水沢 正明 (1977) 新潟県の真正蜘蛛類について.
新潟の自然, 第3集 pp. 255-262.
- No. 100 YAGINUMA, Takeo (1977) Some Problems in Cave Spiders of
Japan. 地下文紀, 11 pp. 305-316 pls. 1-2.
- No. 101 蜘蛛の糸 - 随想篇 - (1977) 八木健夫先生還暦記念発行会
- No. 102 ATYPUS No 70 (1977) 東亜蜘蛛学会
- No. 103 Heteropoda 2号 (1978) 新潟県蜘蛛研究同好会誌
- No. 102 103の内容については次回に紹介します。

- 談話室 -

▶連絡が入ってきています。

八木沼博士の還暦記念号についてです。

* ACTA ARACHNOLOGICA Vol. 27 (特別号) 1977

八木沼健夫博士の還暦記念号として出版されたもので、33名の34編からなる論文集。内容は真正クモ類・ザトウムシ類・カニムシ類・クニ類・多足類を含む。分巻類・分布・形態・染色体・生理・発生・生態その他資料など。日本のクモ学の現状がうかがえる。

本文は英文(7)、独文(1)、和文(26)本文406ページ。プレート2枚、B5、活版、絵アート

* 蜘蛛の糸 (八木沼健夫博士還暦記念随想集)

八木沼博士の経歴、研究業績(おもな論文リストと発表新種109種の記録)、恩師・同僚・教え子・東京蜘蛛学会員らの随想文からなる。本文90ページ B5 タイプオフセット

* 会員定価 Acta arachnol. Vol. 27(特別号)と蜘蛛の糸あわせて7000円(送料別)

* 申込先 郵便振替口座 大阪7054 八木沼健夫先生還暦記念出版会

ACTA ARACHNOLOGICAと蜘蛛の糸についてです。詳しく知りたい方は事務局に見本(蔵書)などがありますので、内容についての質問をおよせ下さい。ちかく6月に総会がありますので直接問合わせらしてはいかがでしょうか。

(談話会事務局より)

けいじばん

▶会費 53年度分1500円
よろしくお預めいたします。

* 振り込み口座 東京7-74885

* 事務局
東京都国分寺市本多 1-6-6
シンカイ写真館内(新海栄一)

▶ 6月18日(日)の総会
場所 時間等詳しい連絡はおてお知らせいたしますので おまち下さい。

▶ 自己紹介 他己紹介をおよせください。

先日本がシャムをつくらと花を集めておりました。ろヒアシアカクモかほろり。ワロアシアカクモかほらり。春です。みなさんの野外報告が増えました。次回は7月号をおめい。かかります。せみみなさまからの情報をおよせ下さい。(通信編集員)

東京蜘蛛談話会

- 通信22号 -

本部
〒191
東京都日野市豊田 1896
荳山鳥 泉方 TEL.0425(81)7128

発行責任(通信原稿受付):

〒190-12
東京都西多摩郡瑞穂町武蔵 41
田中理恵 TEL.0425(57)0355

K I S H I D A I A 正誤表

誤

正

No. 41

目次	小野 <u>辰詞</u>	小野 <u>展嗣</u>
”	採集会報告	<u>観察採集会報告</u>
1-7	疑が	疑い <u>が</u>
12-2	浅野 <u>伝七</u>	浅野 <u>伝七</u>
13-8	株の <u>根元</u>	株の <u>根元</u>
25-10	雑木 <u>材</u>	雑木 <u>林</u>
29-6	観察会報告	<u>観察採集会報告</u>
33-1	観察会報告	<u>観察採集会報告</u>
37-1	<u>溝演</u>	<u>講演</u>
38-2	天 <u>理</u>	天 <u>地</u>
41-13	歩 <u>る</u> いて	歩いて

No. 42

6-18	別 <u>種</u> である	別 <u>属</u> である
7-22	アシダカ <u>クモ</u>	アシダカ <u>グモ</u>
22-1	まだ <u>蛭化</u>	まだ <u>蛸化</u>
-3	卵のう <u>つ</u> から	卵のう <u>か</u> ら
24-3	J <u>ohannes</u>	J <u>ohannes</u>
-(-11)	Tierwe <u>et</u>	Tierwe <u>et</u>
29-(-5)	学名の命 <u>令</u> 者	学名の命 <u>名</u> 者
30-(-9)	(<u>Scopoli</u>)	(<u>Scopoli</u>)
35 37 右下	D <u>ce.</u>	D <u>ec.</u>
47-6	<i>C. ina<u>e</u>qualis</i>	<i>C. ina<u>e</u>qualis</i>

K I S H I D A I A No. 41, 42 (1977年度分)の正誤表をお送りします。お手数をおかけしますが、訂正をお願いします。

なお、このほかにも訂正箇所がありましたら、下記まで御連絡下さい。

編集局：221 横浜市神奈川区片倉町199 熊田 憲一

K I S H I D A I Aの原稿も上記で受け付けています。

正誤表作成に御協力いただいた、各氏にお礼申し上げます。